



分科会

「元気な大学・中小企業・ベンチャーが
牽引する地域活性化」

<主査> 安浦 寛人
九州大学 理事・副学長

元気な大学・中小企業・ベンチャーが牽引する地域活性化

主査

安浦 寛人

九州大学理事・副学長、産学連携センター長、知的財産本部長
知的クラスター創成事業(第 期)
福岡先端システムLSI開発クラスター 研究統括

パネリスト

土井 尚人

(株)ヒューマン・キャピタル・マネジメント 代表取締役社長

秋山 昌之

(財)長野県テクノ財団 技術顧問、知的クラスター創成事業(第 期)
長野・上田スマートデバイスクラスター 元事業総括

落合 孝次

(株)シードライフテック 代表取締役社長

飯田 耕一

(財)千葉県産業振興センター 理事長
全国イノベーション推進機関ネットワーク 運営委員長

総評

白石 隆

総合科学技術会議議員

問題提起と論点

1. 如何にして地域の取組を全国・
世界レベルに発展させていくか？

論点 1

地域の多様性を踏まえた、グローバル展開の方向性と課題

2. 地域発のイノベーションを生み出す
仕組みとして何が必要か？

論点 2

イノベーションを継続的に生み出すための仕組みづくり

主な意見

1. 大学の「知」の活用

事業化 = 技術シーズ(大学) + マネジメント(産業界)
大学・企業等による継続的で幅広い人材育成とネットワーク形成が重要

2. 地域発ベンチャーの育成

地域のシーズを活かす経営技術と世界のニーズを結びつける仕組み
パートナーシップに基づくアライアンス(強みを活かし、弱みを補完)

3. 中小企業の技術の高付加価値化

企業と大学の息の長い継続的な連携
基本技術、品質、コスト、資金調達などを総合的に強化する仕組み

4. 異業種(農商工) および地域外連携

第一次産業も含む新しい技術シーズの発掘による地域産業・周辺産業の活性化
世界市場からの調達と世界市場への販路確立

5. 支援機関やコーディネータの重要性

全国規模での支援機関の連携(全国イノベーション推進機関ネットワーク)
コーディネータの育成と待遇改善

提言

- 如何にして地域の取組を全国・世界レベルに発展させていくか？ -

地域ならではの強み・特徴といった資源を最大限に活用するために、今後進めていくべき取組として、

日本型オープンイノベーションの確立を目指す試み

世界的に強い「学の知」と地域独自の「技術」や「経営」の組み合わせ

ニーズとシーズのマッチングと世界的な販路開拓

- 地域発のイノベーションを生み出す仕組みとして何が必要か？ -

産学官連携の仕組みづくりやネットワーク強化として、

持続可能かつ裾野の広い取組とするための人材育成システムの確立

パートナーシップとコーディネート機能の強化によるイノベーションの創出

試作や情報提供、販路開拓の地域的なプラットフォーム作り

産業構造の変化に対応できる新しい地域イノベーションモデルの創生